

坂総合病院 第 32 回倫理委員会報告

日時：2008 年 5 月 10 日（土）午後 4 時 10 分～午後 6 時 20 分

場所：坂総合病院 新館 2 階カンファランス 2

出欠：委員 歯科医師 1，宗教家 1、弁護士 1，ジャーナリスト 1，医師 4，看護師 1、事務局 4

1. 第 31 回委員会（08.03.8）報告について

確認した。

2. 「医療倫理方針（案）」について

委員長より、前回の意見に基づき事務局で修正した文案について説明後、議論した。

- ・ 2 項の「関係する種々の規範を尊重し」という表現は、かえって医療活動を規制してしまうことにならないか。→「関係する種々の規範」は各医療職の規範を対象にしているが、どのように実践していくかという点は各職種で検討できる、という意味で「尊重する」という表現にした。
- ・ 4 項の 3) 「患者に危害を加えないように行動する原則」は医療事故のイメージを持ってしまうが。→臨床倫理の「無危害」の原則を表現した部分で、歴史的には人体実験への反省から生まれている。表現は、工夫する必要はある。
- ・ この文章が臨床倫理方針として、網羅できているという点の検証は？→他の病院との相対的評価しかないが、ホームページ等でみると記載の範囲は妥当かと思う。
- ・ 剖検等についての倫理は？→医療分野としては、基礎系にはいる印象だが、1 項の「患者の基本的人権の尊重」、6 項の「臨床研究の施行時における適正な倫理的審査」に含まれると考える。
- ・ 医療倫理規定としては、4 項「医療倫理 4 原則」を明記したことと 5 項「多職種による民主的・集団的検討」が特徴的だと思う。1 項「患者の基本的人権の尊重」と 4 項の 1) 「患者の自律性の尊重」の内容が重複している印象があるが。→1 項「患者の基本的人権の尊重」が上位概念で 4 項の 1) 「患者の自律性の尊重」がその具体的概念という関係で考えて頂きたい。
- ・ 5 項「多職種による民主的・集団的検討」で病院の運営の民主化という点と医療の民主化という点をリンクさせているのは特徴的なので、5 項の文中で「適宜倫理委員会の指導を仰ぎながら」という表現は、強い管理の印象を与えるので不適切では。→「支援を受けながら」に変更しましょう。
- ・ 公開方法は？→院内とホームページ上での掲示。院外向け広報誌への掲載もあるかもしれない。
- ・ 医療機能評価との関連での議論提起になっているが、5 年毎の更新時の議論だけでなく、諸情勢との関係で議論する必要が発生するのではないか。→その際は、当倫理委員会か病院管理部の発議によって、適宜検討することになる。

* 倫理委員会として確認し、表現の修正等は事務局に一任とした。

3. 救急医学会「救急医療における終末期医療に関する提言（ガイドライン）」への見解（案）について

委員長より、標記見解案について説明の上、議論した。

- ・ ガイドラインの基本的な考え方で、「延命治療を中止する方が適切であると思われる状況」とあるが、何が適切であるのかという規定は？
→その点が明示されていない問題もある。終末期と判断される状態にあり、医療を行うことが患者個人の尊厳を損なう場合、と推定するが。
→医学的無益性を言っているのではないか。
→医療資源の配分という点もあるか。すでに医療行為が無益な状況にあるので、数日経過を見ることができないという状況。
- ・ シチュエーションとしては、救急室、ICUが考えられるか。
→Q/Q処置が落ち着いて一定経過をみてからになるので、救急室内でということはない。
- ・ 大規模災害などで複数の事例が同時に発生した場合は？
→大規模災害の場合は、トリアージが必要になるので大規模災害ガイドラインが適用される。そこまで行かない場合は、個々の事例毎に検討になる。
- ・ ガイドラインは、実際の医療判断を拘束できるのか？
→ガイドラインは民間レベルのガイドラインで法律ではないので、病院方針や医師を拘束するものではない。参考にしろ、という程度。しかし、ガイドラインからはずれた行為で結果が悪かった場合には、説明責任を問われる。但し、合理的に説明できれば問題ない。
- ・ アメリカの考え方よりも踏み込んでいる印象がある。家族関係にもいろいろあるので、本人の意志を中心において判断することが重要だ。
- ・ ガイドラインへの見解については、良いと思う。当院でもあるが、「延命措置を中止する方法の選択肢」の中で、「行わない」という表現はわかるが、「中止する」という表現の場合、中止する基準をどう考えればよいのか？ →中止するというよりは、現在行っている行為を、再度行うかどうか、という考え方で検討している。

*見解（案）について、倫理委員会として確認する。

■ 次回以降の委員会日程～会場は、新病院2階カンファランス室2にて。

第33回委員会：2008年7月5日（土）午後4時より

第34回委員会：2008年9月6日（土）午後4時より